

令和 8 年度飯島町地域公共交通計画策定に
資する基礎資料作成業務
詳細説明資料

令和 8 年 6 月 2 5 日

目 次

1. 地域特性を踏まえた計画策定の考え方.....	3
2. 町の現状把握の詳細.....	3
(1)主要施設の立地状況	3
(2)人口構造及び分布状況.....	4
(3)定量的な目標を設定するための現況調査	5
3. 地域公共交通の現状把握	6
(1)地域公共交通の運行状況.....	6
(2)人流データ整理.....	6
4. 利用実態調査.....	9
5. 利用者の移動特性やニーズの把握.....	11
(1)アンケート調査の目的.....	11
(2)町民アンケートにおける対象者抽出への配慮	11
(3)アンケート実施方法	11
(4)アンケート内容（予定）	12
(5)福祉施設へのヒアリング	13
(6)バスへの乗車調査.....	13
6. 運行事業者に対するヒアリング	14
7. 上位関連計画での位置づけ等の整理	14
8. 地域公共交通における現状・問題点・課題の整理	14

本文中の各種計画の策定及び改定等時期

飯 島 町 第 6 次 総 合 計 画：令和 7 年（2025 年）9 月改訂
飯島町都市計画マスタープラン：令和 8 年（2026 年）3 月 31 日改訂
飯 島 町 立 地 適 正 化 計 画：令和 8 年（2026 年）3 月 31 日策定
飯 島 町 人 口 ビ ジ ョ ン：令和 7 年（2025 年）7 月改訂
飯島都市計画基礎調査（飯島町）：令和 3 年（2021 年）3 月実施
飯 島 町 観 光 基 本 計 画：平成 30 年（2018 年）3 月策定

しあわせ信州創造プラン 3.0：令和 5 年（2023 年）3 月改訂
長野県地域公共交通計画：令和 8 年（2026 年）3 月改訂

1. 地域特性を踏まえた計画策定の考え方

国土交通省では、公共交通計画を支援するツールとして「MOBILITY UPDATE PORTAL」を公表しており、本計画策定でも、このツールを最大限活用する。

ただし、同ツールでは把握しきれない飯島町の特徴については、都市計画マスタープラン改訂、立地適正化計画策定、都市計画基礎調査等で把握した現況を最大限活用し、より詳細な地域特性の把握に努める。

また、計画期間が2028年度（令和10年度）から2030年度（令和12年度）の3ヵ年であるが、長期的な動向を踏まえた計画策定のための調査を行う。

2. 町の現状把握の詳細

(1)主要施設の立地状況

立地適正化計画策定時に把握した、町民と生活のかかわりの深い公共施設、民間施設について、地図上に示し、その分布状況を調査する。

今後、アンケートにより、利用頻度の高い公共施設を把握し、計画の検討資料とする。

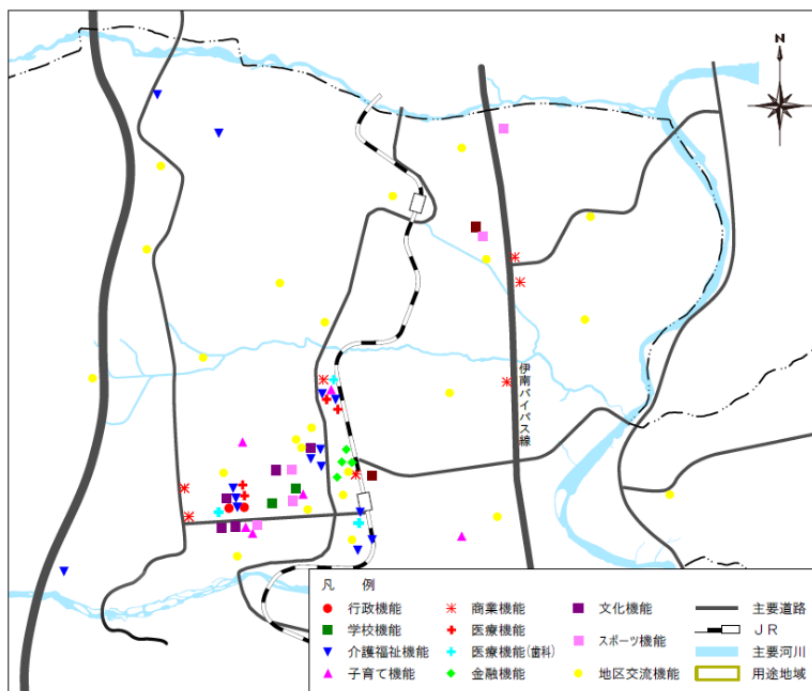


図1 飯島・田切地区公共施設等配置図

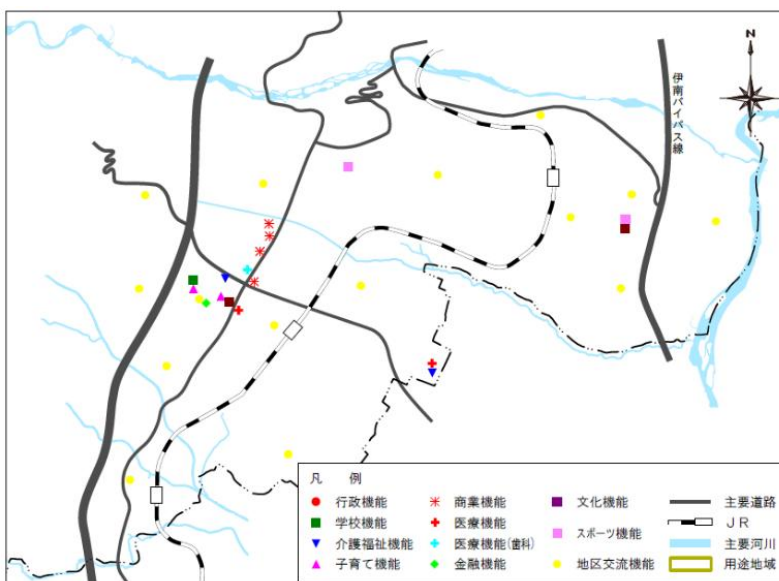
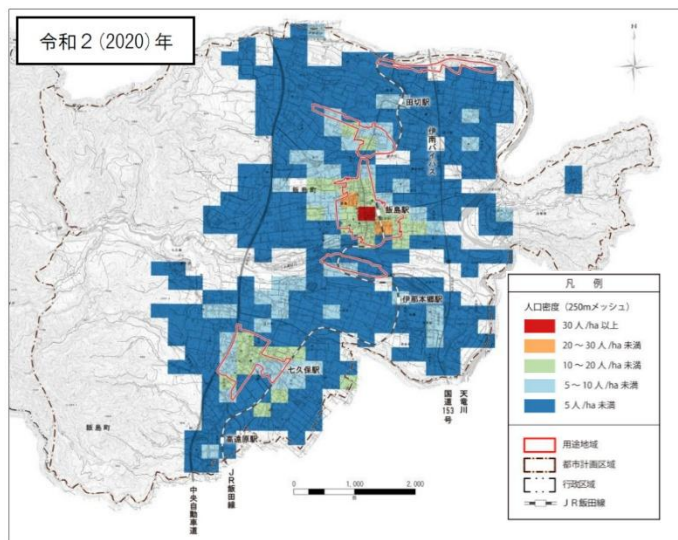


図2 七久保・本郷地区公共施設等配置図

(2)人口構造及び分布状況

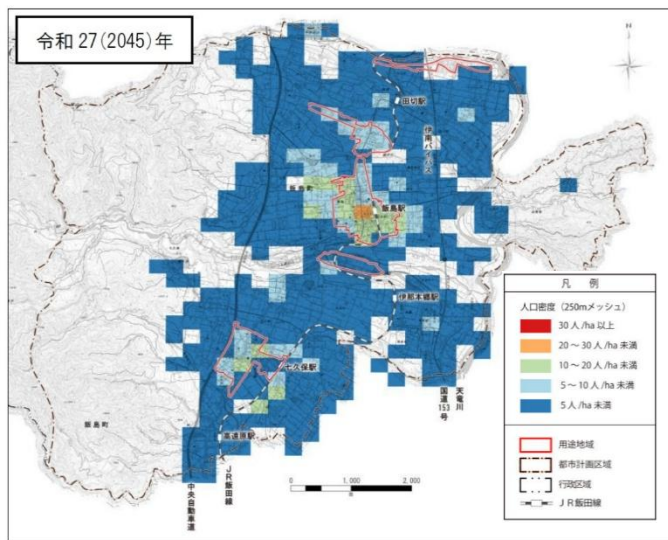
人口構造に関しては、国勢調査結果、住民基本台帳等を活用し、詳細な調査を実施する。また、飯島町人口ビジョン等に示されている将来人口推計等についても再整理する。

調査結果は、グラフ等を活用するとともに、人口分布、人口増減率、高齢化の状況等、国土数値情報等を活用して、経年変化グラフ、メッシュデータ等、地域特性を見える化する。



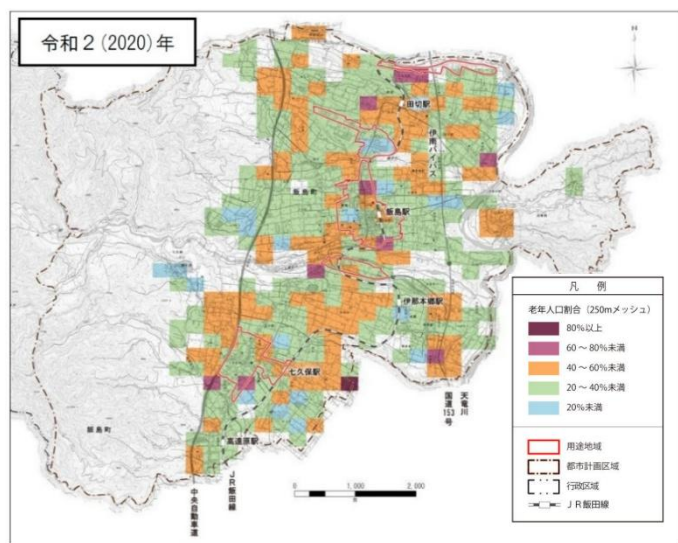
(出典：飯島町立地適正化計画)

図3 人口密度の状況(2020年)(現況)



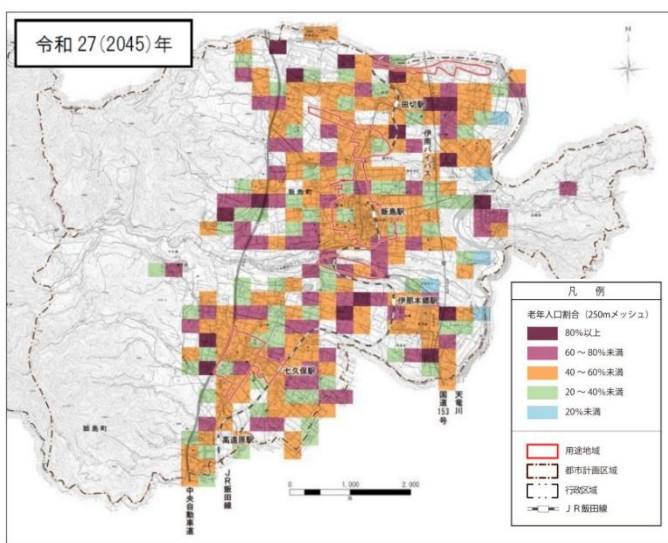
(出典：飯島町立地適正化計画)

図4 人口密度の状況(2045年)(推計値)



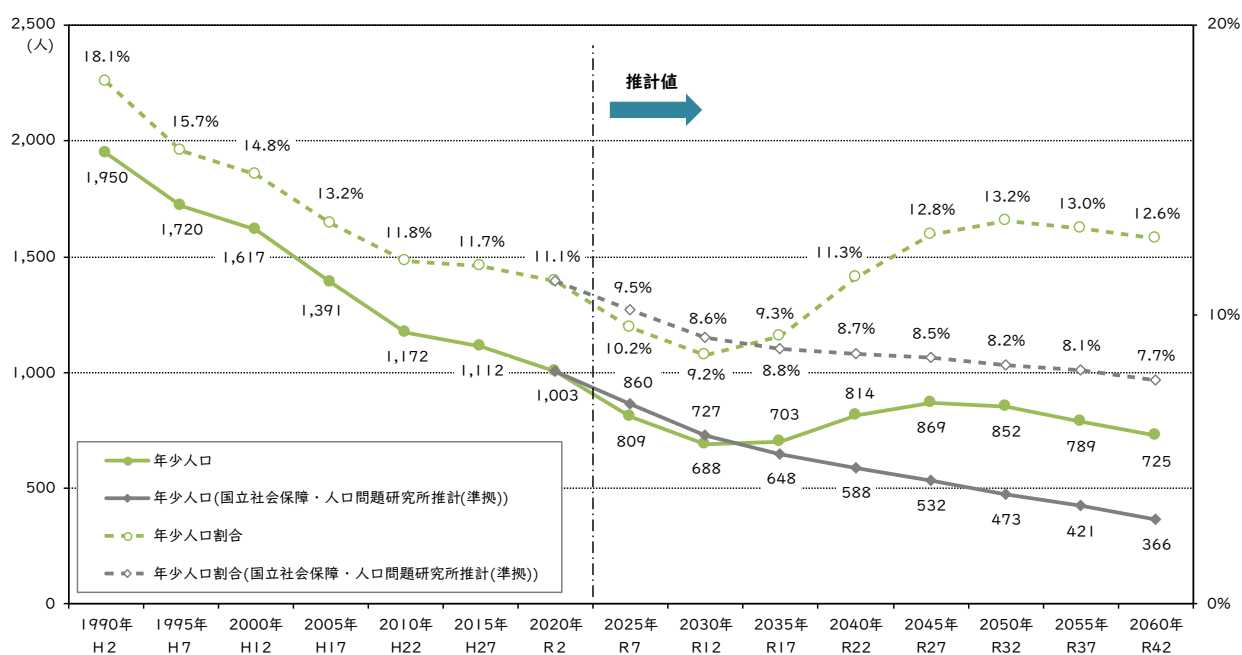
(出典：飯島町立地適正化計画)

図5 高齢化の状況(2020年)(現況)



(出典：飯島町立地適正化計画)

図6 高齢化の状況(2045年)(推計値)



(出典：飯島町人口ビジョン)

図7 年少人口の将来推計

(3) 定量的な目標を設定するための現況調査

次年度、具体的な計画を策定する際に必要な定量的な目標を設定するための現況調査項目を追加して調査する。

具体的には、想定される数値目標（利用者の数、収支、地域旅客運送サービスの費用に対する国及び地方公共団体の負担に関する金額）に併せ、より住民に分かりやすい数値目標を設定することが求められる。また、定量的な目標設定には、現況の数値等を正確に把握する必要がある。

そのため、現時点で想定される数値目標について、従前値となる現況の数値を正確に把握することとする。

なお、参考ではあるが以下の数値目標を想定する。

- 1) 通院、通勤、通学等における交通手段の公共交通分担率
- 2) 町内乗り合いバス事業者の運転手の数（ヒアリングによる）
- 3) 公共交通に対する町民の満足度（アンケート調査による）
- 4) 町民が「公共交通は必要である」と考える割合（アンケート調査による）
- 5) 高校生の家族による送迎頻度（アンケート調査による）
- 6) 高校生の公共交通利用比率（アンケート調査による）

3. 地域公共交通の現状把握

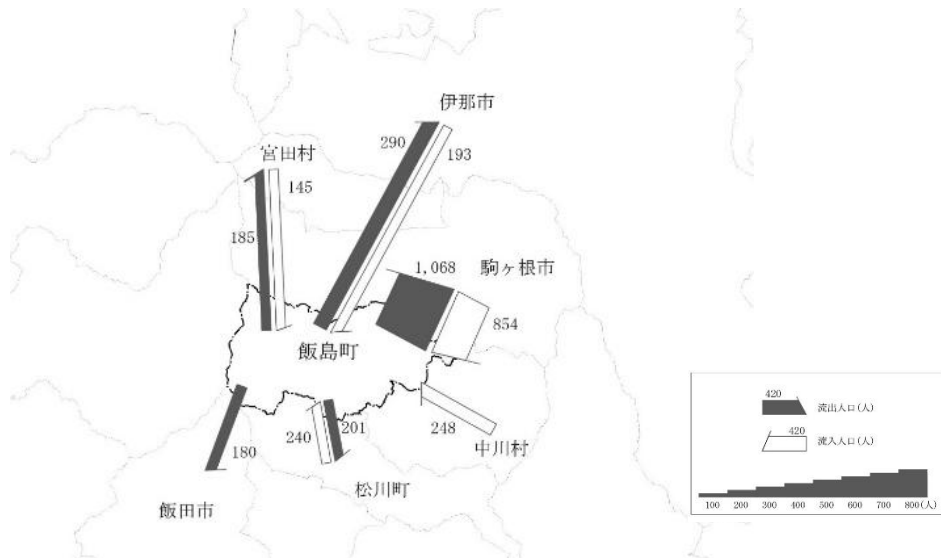
(1) 地域公共交通の運行状況

長野県統計書、庁内保有資料、都市計画基礎調査結果等を活用し公共交通の運行状況及び利用者数について、経年変化も含め把握する。

調査の対象とするのは、JR 飯田線、循環バス事業（地域線・病院線）、福祉タクシー事業、スクールバスとする。

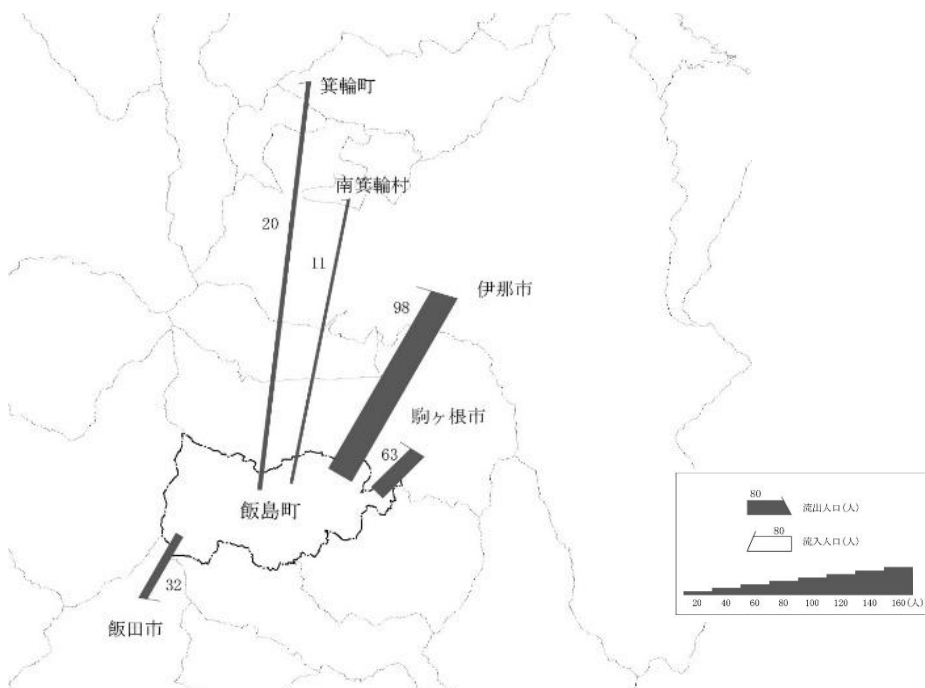
(2) 人流データ整理

国勢調査結果等を基に通勤・通学等の移動の状況について整理する。



出典：飯島町都市計画基礎調査（令和7年度）

図8 流出・流入人口（2020年）（就業者）



出典：飯島町都市計画基礎調査（令和7年度）

図9 流出・流入人口（2020年）（通学者）

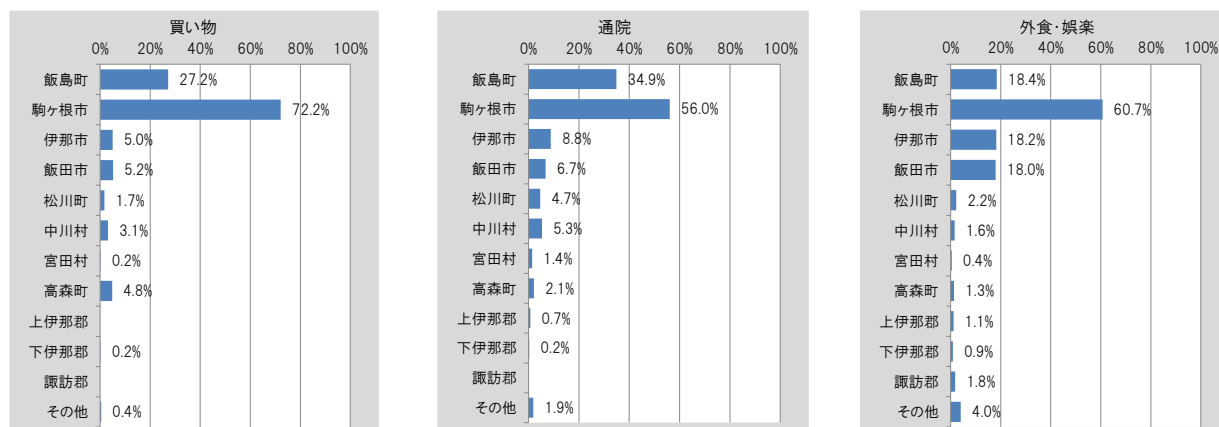
また、後述のアンケート調査を活用し、町内における移動の状況についても整理する。

町内では、買い物、病院等、周辺の市町村に一部依存した生活様式が定着している。

通院以外でも、買い物、外食・娯楽等でも隣接する駒ヶ根市を目的地としている住民が多く、検討課題となっている。

現在、昭和伊南病院までの区間について、いいちゃんバスの病院線として平日のみ4便が定時運行しており、駒ヶ根市内の4箇所で乗降が可能となっている。

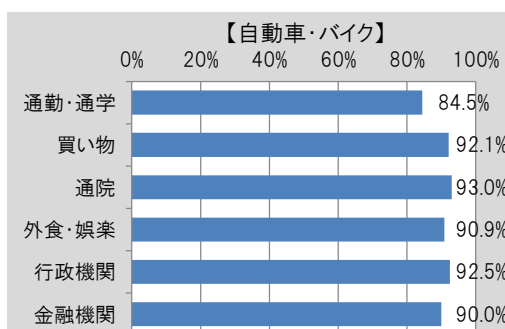
この昭和伊南病院は移転が予定されており、5年後の2031年度（令和13年度）に開院する予定で事業が進められているため、計画を策定する際には、それを見据えた検討が必要である。



（出典：飯島町都市計画マスタープラン改訂・立地適正化計画策定時アンケート調査報告書）

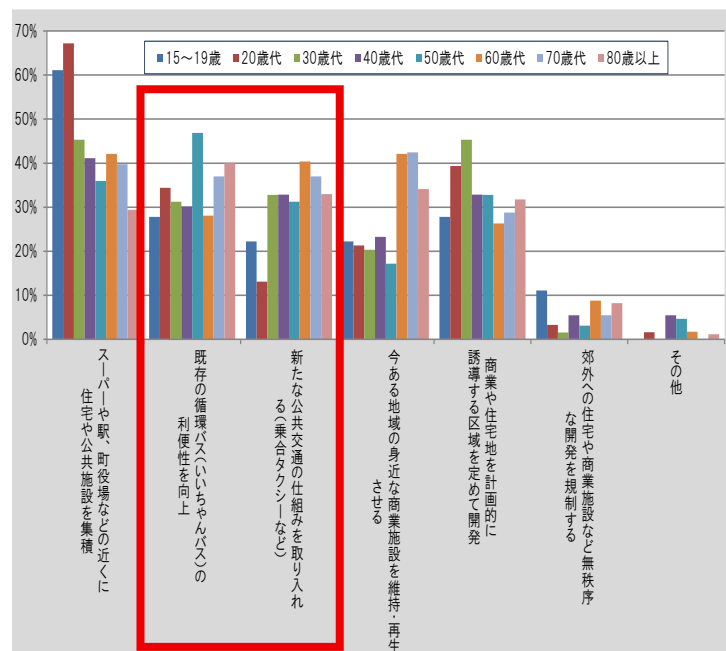
図10 日常行動における町外依存状況

併せて、通勤・通学等の移動手段、自動車利用の状況等についても調査の対象とする。また、自動車での移動に代替えできる公共交通のあり方について、住民アンケート等を通じて詳細に把握し、利用率の向上が図れる計画の策定に努める。



（出典：飯島町都市計画マスタープラン改訂・立地適正化計画策定時アンケート調査報告書）

図11 目的別移動手段（自動車・バイクの利用状況）



(出典：飯島町都市計画マスタープラン改訂・立地適正化計画策定時アンケート調査報告書)

図 12 年代別公共交通への要望

4. 利用実態調査

地域公共交通の現状把握及び後述のアンケート調査結果等についてデータ分析を行い、飯島町の地域公共交通の利用実態を把握する。

調査に際しては、現況整理で把握した情報を地図上で重ね合わせることで、より詳細な地域情報を把握する。

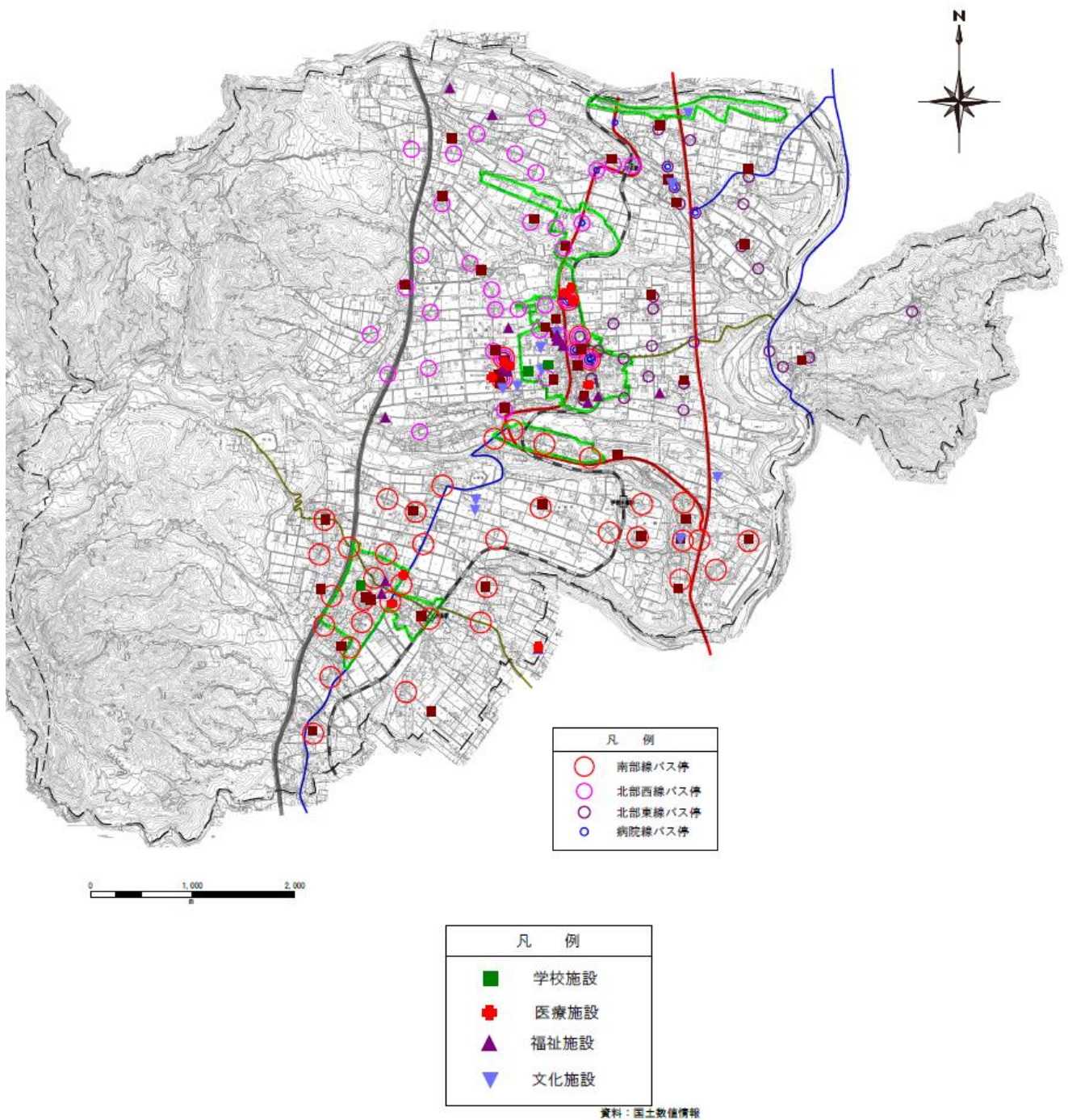


図 13 データ重ね合わせ図（バス停－公共施設位置）

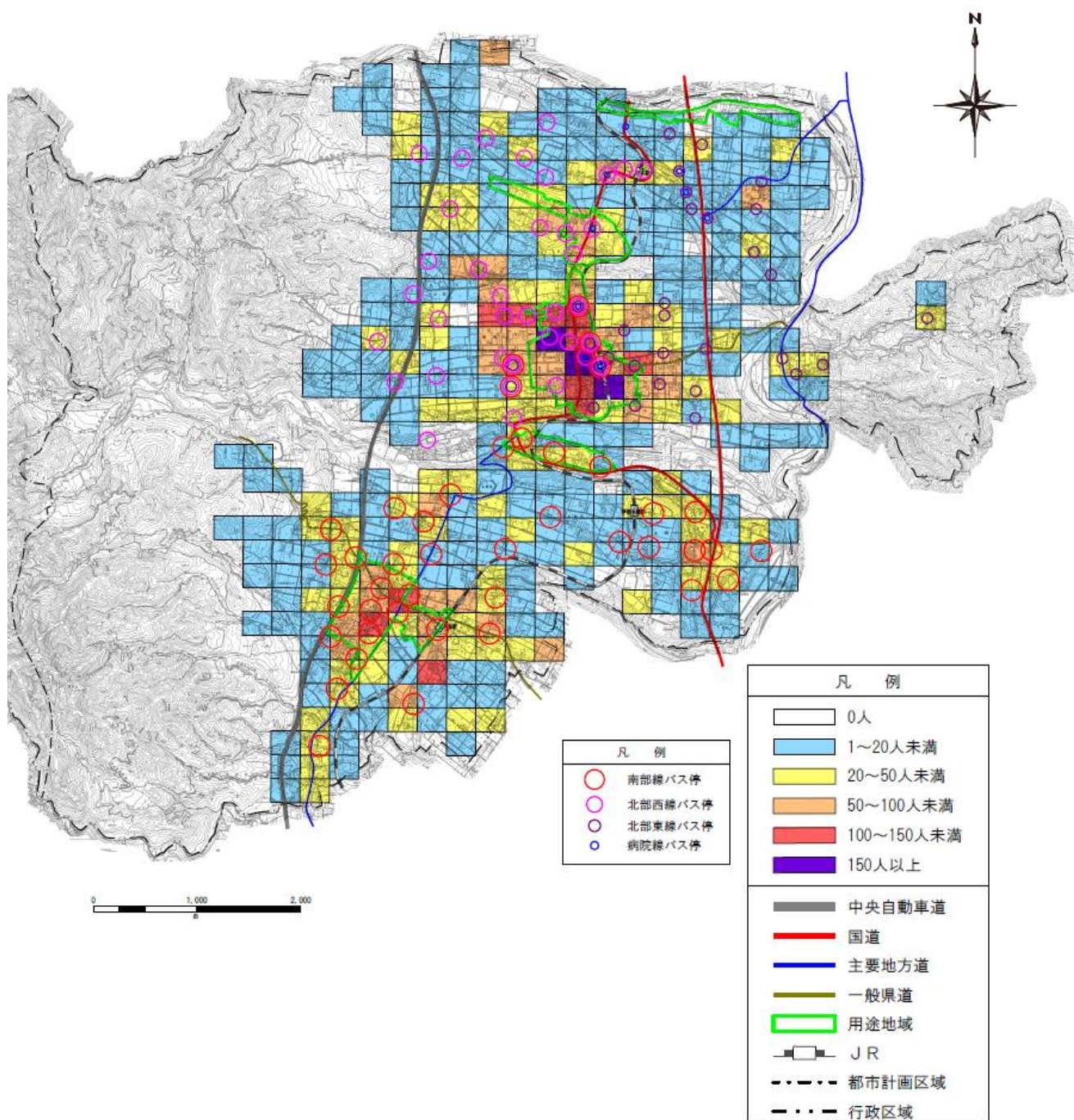


図 14 データ重ね合わせ図 (バス停－人口密度)

5. 利用者の移動特性やニーズの把握

(1) アンケート調査の目的

アンケート調査は、町民の行動特性や公共交通（鉄道、デマンド交通等）や自家用車の利用状況及び公共交通の利用ニーズ等を調査し、町内の公共交通の利用等に関する現状・課題、ニーズ等を把握し、施策の検討のための基礎資料とすることを目的とする。

また、高校生アンケートは、特に通学等で公共交通を利用することが多いことに鑑み、利用の現状や課題、ニーズ等を把握することを目的とする。

さらに、運行するバスに乗車し、利用者の動向等についても調査を行う。

(2) 町民アンケートにおける対象者抽出への配慮

アンケート調査は、公共交通を利用する可能性の高い年代に重きを置く必要があると考え、40歳以上85歳未満を対象に実施する。なお、この年代は飯島町の年齢別人口におけるボリュームゾーンとなっている。

これとは別に、通学等で公共交通利用が想定される高校生相当の年齢（16歳～18歳）も調査対象とし、利用率を向上させるための検討資料とする。

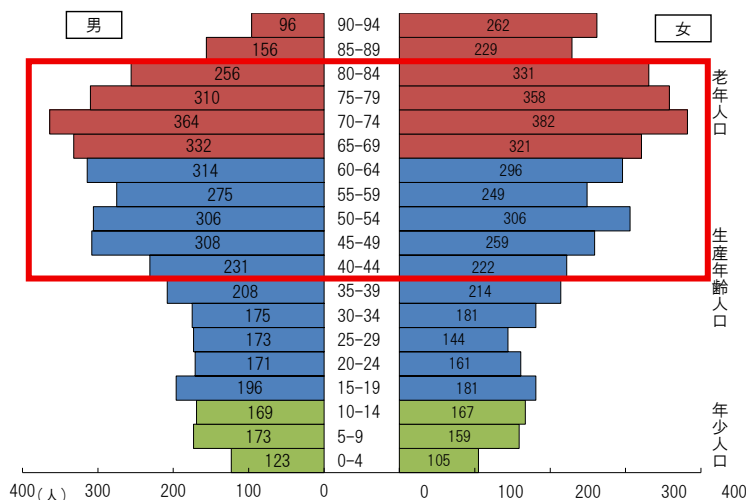


図15 男女別年齢別人口構成

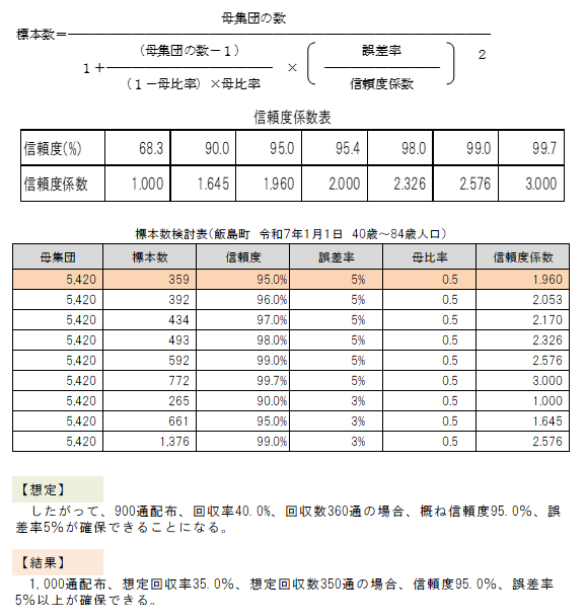


図16 アンケート調査信頼度－誤差率検討表

アンケート調査数については、調査の信頼性を高めるため、95%信頼度、5%誤差率を目指し、回収数を360通とした場合、回収率を40%と仮定すると、配布数は900通となることから、より信頼度を高めるため、1000通の配布を予定する。

また、高校生相当の年齢の町民は、全数調査とし、約250部の配布を予定する。

(3) アンケート実施方法

アンケート調査は、紙媒体による配布を行い、回収に関しては返信用封筒を同封し料金受取人払いで回収する方法と、アンケート用紙にQRコードを印刷し、インターネット経由での回答を想定する。

また、町内の公共施設に設置されている「いいちゃんポスト」への投函も想定する。

(4)アンケート内容（予定）

アンケート調査の項目は以下を予定する。

表1 アンケート項目（予定）

番号	項目		一般 アンケート	高校生対象年齢 アンケート
1	回答者属性	年齢	●	●
2		性別	●	●
3		家族構成	●	●
4		職業	●	●
5		居住地区	●	●
6		運転免許の保有状況	●	
7		運転免許の保有継続の意思	●	
8		自分が利用できる自動車の有無	●	
9	公共交通の 利用実態	JR 飯田線利用頻度	●	●
10		いいちゃんバスの利用頻度	●	●
11		いいちゃんバスのバス停までの徒歩での所要時間	●	●
12		中央高速バスの利用状況	●	●
13	日常行動 の状況	通勤・通学	●	●
14		食料品・日用品などの買い物	・外出の頻度 ・外出する時間帯 ・最も多い交通手段 ・目的地（市町村もしくは施設名）	
15		通院		
16		外食・娯楽など		
17		役場や社協などの行政機関		
18		銀行や郵便局、信用金庫などの金融機関		
19	公共交通への 意識	公共交通の必要性	●	●
20		公共交通の運行が難しくなった場合の対応方法	●	●
21		高齢運転者の公共交通への転換の必要性	●	●
22		いいちゃんバスの運行本数・間隔	●	●
23		いいちゃんバスの運賃	●	●
24		いいちゃんバスのバス停の位置	●	●
25		公共交通機関を利用しやすくするための改善点	●	●
26		公共交通機関利用への意思	●	●
27	満足度・重要 度	通勤・通学の利便性	●	●
28		買い物や通院の利便性	●	
29		いいちゃんバスなどの公共交通網の充実	●	●
30		JR 飯田線の利用促進と存続への取り組み	●	●
31		いいちゃんバスと JR 飯田線の乗り継ぎ	●	●
32	公共交通の必 要性	JR 飯田線	●	●
33		いいちゃんバス	●	●
34		地域線 病院線	●	●
35	通勤・通学への送迎頻度・送迎者		●	●
36	買い物、通院、行政手続き等への送迎頻度・送迎者		●	●
37	公共交通の改善を求める事項（運行ルート、運行時間、運行本数、運賃等）		●	●
38	自由記述		●	●

(5)福祉施設へのヒアリング

町内の福祉施設へのヒアリングを行い、地域公共交通に対するニーズや考え方を整理する。
福祉施設へのヒアリング内容は、以下に示す通りとする。

表2 福祉施設へのヒアリング項目（予定）

番号	項目	ヒアリング内容
1	施設概要	施設の事業内容
2		施設利用者数
3	利用者の状況	利用者の居住範囲
4		利用者の施設利用時の移動手段
5		施設利用者の一般生活における移動手段
6	公共交通利用の可能性	公共交通利用の可能性
7		公共交通を利用する場合の配慮事項
8	公共交通計画への要望	策定する公共交通計画に期待すること、記載してほしいこと

(6)バスへの乗車調査

現在運行しているいいちゃんバスに乗車し、利用者から聞き取り調査を行い、地域公共交通に対するニーズや考え方を整理する。なお、聞き取り調査に際しては、個人情報の保護に配慮する。

バス利用者への調査内容は、以下に示す通りとする。

なお、調査項目は平成21年度に町内で実施した乗車調査の内容を含み、比較が可能な内容とする。

表3 利用者への聞き取り調査項目（予定）

番号	項目	ヒアリング内容
1	利用者の状況	年齢・性別・居住地、利用日時
2		運転免許の保有状況
3		いいちゃんバスの利用頻度
4		いいちゃんバスのバス停までの徒歩での所要時間
5	利用実態	乗車場所、降車場所
6		乗車時間
7		乗車目的
8	公共交通計画への要望	公共交通機関を利用しやすくするための改善点
9		公共交通機関利用の意思

6. 運行事業者に対するヒアリング

飯島町の交通事業者（鉄道、バス、タクシー）にヒアリングを行い、各団体の地域公共交通に対するニーズや考え方を整理する。

公共交通事業者へのヒアリング内容は、以下に示す通りとする。

表4 運行事業者ヒアリング項目（予定）

番号	項目	ヒアリング内容
1	事業内容	現在の事業内容（保有車両数、運転者数、運転者の平均年齢等）
2	利用状況	近年の利用状況
3		近年の利用者の特徴（年齢層、移動目的等）
4		利用が多い時間帯、曜日、時期
5	利用者からのご意見	利用者からの運行内容等に関する意見、指摘等
6	今後の事業展望	ダイヤ変更への対応の可能性
7		今後の事業継続における課題事項
8	公共交通計画への要望	策定する公共交通計画に期待すること、記載してほしいこと

7. 上位関連計画での位置づけ等の整理

上位関連計画との整合を図るため、以下の計画について公共交通の位置づけ等の確認を行う。

表5 本計画と係わりが深い上位計画一覧

番号	計画名	整理内容
1	飯島町第6次総合計画	公共交通に関する記載内容
2	飯島町都市計画マスタープラン	分野別構想における公共交通に関する記載内容
3	飯島町立地適正化計画	誘導施策における公共交通に関する記載内容
4	飯島町観光基本計画	広域連携における二次交通等の位置付け
5	飯島町人口ビジョン	将来人口の推計
6	長野県地域公共交通計画	上伊那圏域における公共交通に関する記載内容
7	しあわせ信州創造プラン3.0	公共交通に関する記載内容
8	その他、関連計画	公共交通に関する記載等

8. 地域公共交通における現状・問題点・課題の整理

7. までの整理・調査結果を基に、公共交通における現状・問題点・課題を整理する。